

平野祐也の創造に関する取り組み①

起業家支援策の充実について

岐阜県発のイノベーションを促すべく、若手起業家（スタートアップ）支援策の拡充を提言しました。地方は課題先進県であり、今後の日本の社会課題を解決するようなスタートアップを育てる仕組みを整えることが大事です。そうした中で近年「ぎふスタートアップカフェ」や「岐阜県スタートアップ企業支援補助金」等、官民連携の支援策が続々と出てきています。そして2021年の調査で「大学発スタートアップ企業増加数」ではなんと岐阜大学が全国2位となるなど、大きなうねりが起きてきています！頑張る若者を応援する政治行政を目指します！



ぎふビジネスアイデアプレゼンテーション大会の様子

平野祐也

その質問で岐阜県が変わった？

県政4年目の政策検証

県議会で当選してから3年以上が経過しました。議員の大きな武器として、県議会開会中に行われる「一般質問」という時間があり、そこで県政に対して質問や提案が出来ます。平野祐也の基本政策の三本柱に従って、これまでの一般質問の中から、現在既にカタチになりつつあるもの、これから取り組んで行きたいものをご紹介します！

創造 編

平野祐也の基本政策 その3



規制だらけの現代こそ、
織田信長の発想で！



現代版楽市楽座で地域を再活性化

平野祐也の創造に関する取り組み④

有機農業の今後の取り組み拡大について

有機農業は手間が掛かり、収穫量も安定しないということから、農家からは敬遠されてきましたが、世界的に見ると需要が増加しています。また単価が高いことから、農家の収益向上にも寄与する可能性を秘めています。岐阜県は農家あたりの耕作地面積が「全国最小」という厳しい条件があり、収益向上の為に「ブランド化」や「高付加価値化」は必須だと考えています。そこで岐阜県農業の発展の為に、有機農業等を取り入れた収益性向上が必要であると提言しました。今後県として「有機農業推進計画」を策定する為に農業関係者への調査や検討が始まります。引き続きフォローして行きます。



高山市で有機農業に取り組む山蔵農園さんへ視察

平野祐也の創造に関する取り組み②

若年消防団員確保策の検討と 今後の県消防操法大会のあり方について

消防団はいつか来る大規模災害への対応や地域の防災力向上の為には必要であることは明白ですが、消防団員は全国で減り続けています。その理由として挙げられるのが「操法大会の練習」で、負担が大きいことが敬遠される理由の一つです。近年、「操法廃止」が全国的にニュースにもなっています。そうした声が出ている中で、「操法県大会の今後のあり方」について質問しました。県として団員にアンケート調査を行っていくことや、若年団員の確保の為に、県立高校での説明機会を設け、消防団の認知度を上げる取り組みも始まることになりました。今後も時代にあった消防団の姿を模索して行きます。



操法大会にて一番員として出場する平野祐也

平野祐也の創造に関する取り組み③

県有施設の民間への利用促進について

コロナ禍で「キッチンカー」を見かける機会が増えたと思います。しかし道路や役所の敷地、公園等、公共空間は民間利用が制限されています。管轄部署によっても方針が違い、申請も個別対応という状況でした。こうした状況を打開して、民間の知恵を活かした公共空間の活用について提言しました。



県営各務原公園（交通公園）のキッチンカーの様子

その結果、県所管施設について、昨年4月より「ワンストップ窓口」が設置され、手続きが簡略化されました。そして各務原公園にもキッチンカーが来るようになりました！公共空間利用については、11月に木曾川河川敷を活用するイベントが始まる等、オモシロイ街にする為のアイデアを募集しています！

平野祐也の創造に関するその他の取り組み

昆虫食の普及拡大

都市計画区域マスタープラン

ウッドショックへの対応と国産材の性能向上

免許更新における実施箇所の拡大

名古屋大学と岐阜大学の経営統合を活かした連携

岐阜県収入証紙の廃止

起業家支援策の充実 川島大橋早期復旧

創造についての
活動報告をぜひご覧ください！



岐阜県議会議員 平野祐也タイムズ

VOL. 25

平野祐也のプロフィール

1984 (S59)年12月生まれ
 緑苑小▷緑陽中▷岐阜北高
 ▷名古屋大学法学部卒
 ▷三菱商事(東京・米国)11年勤務
 ▷2019年岐阜県議会議員(1期目)

2019年春、10才から夢みた政治家となり、明るい未来を創るためのスタートラインに立つ。サラリーマン家庭の男3人兄弟、次男。中学・高校時代はバスケットに熱中。大学時代は各務原市議会議員の下で議員インターンシップに参加。現在は妻、子供2人と鶴沼山崎町在住。

発行日

2023年冬将軍号

一般質問

満額回答!

「岐阜県ドローン等推進研究会」立ち上げへ!

平野祐也の質問

質問 空飛ぶクルマとドローンについて、航空宇宙産業との連携も踏まえ、岐阜県としての取組推進を行うべきと提言しました。

趣旨 空飛ぶクルマは2025年の「大阪・関西万博」において商用利用が決定し、2023年から全国で



ドローンに関して一般質問をする平野祐也

実証実験が始まります。ドローンも、昨年12月より改正航空法が施行されて有人地帯を遠隔操作で飛行可能となりました。もはや「夢の世界」というよりは、既に現実的に空を飛ばす事はできて、「いかに活用していくか」というステージにきています。また、今後は安全保障の観点からも、国産ドローンや空飛ぶクルマの開発や設計を進める必要があります。各務原のものづくり技術は必ず発揮される機会があると考えています。

答弁

- ①ドローンの開発・製造や、その活用にチャレンジする企業に対して積極的に支援。
 - ②市町村とも連携して、県内実証フィールドの実現可能性を追求する
 - ③1月中にも(仮称)ドローン等推進研究会を立ち上げる。
 - ④ドローンにチャレンジする県内企業へ来年度予算も視野に入れて検討、展開する。
- 今後ドローンや空飛ぶクルマに関して岐阜県として動いて行きそうです!
- 引き続き「空・宇宙」に関しては岐阜県!と言われる様な体制づくりを進めて行きます。

平野祐也の基本政策

その1 産業

美濃を制すものは天下を制す!

“ど真ん中”岐阜を産業拠点に

その2 教育

教育は場所を選ばない!

世界に誇る教育環境を岐阜に

その3 創造

規制だらけの現代こそ、織田信長の発想で!

現代版楽市楽座で地域を再活性化

1月4日から新県庁が開庁しました!旧庁舎や旧議会棟は昭和41年から56年の歴史に幕を閉じました。中々県庁にいらっしゃる機会が少ないかもしれませんが、3月から県議会も新しい議場で開催されますので、是非とも傍聴にお越し頂けたらと思います!県庁前の公園も「ぎふ結のもり」としてリニューアルオープンしています。議場も子供と一緒に来ることが出来たり、バリアフリーになったりと、皆さんに開かれた議場となっております。新議場でもしっかりと仕事をしたいと思えます!



2023年1月にリニューアルされた県庁舎と議場



岐阜県議会議事堂

1月より、岐阜県庁舎が新しくなりました!

平野祐也

ひらのの ゆうや

各務原から創ろう。岐阜県の未来を。



LINE公式アカウント

最近の活動は

平野祐也

で検索!